

## 令和6年度 第2回焼津市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和7年3月19日（水）午後2時23分～午後3時05分
- 2 開催場所 焼津市立焼津図書館研修室
- 3 公開可否 可
- 4 傍聴者 なし
- 5 出席者 (委員) (事務局)
- |          |                |
|----------|----------------|
| 秋山めぐみ 委員 | 平田 図書課長        |
| 伊久美奈保子委員 | 山梨 大井川図書館担当主幹  |
| 岡本康夫 委員  | 山本 焼津図書館担当係長   |
| 桑原光子 委員  | 永井 焼津図書館担当主任主事 |
| 鈴木美紀 委員  |                |
| 橋本 登 委員  |                |
| 増井 悟 委員  |                |
- 欠席者 (委員)
- |          |
|----------|
| 岩田祐子 委員  |
| 内藤亜記子 委員 |

### 6 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事
  - ①令和6年度図書館利用状況及び図書館事業実績について
  - ②令和7年度図書館事業計画について
- (4) 閉会

### 7 内 容 (要約)

- (1)開会  
事務局：(開会のあいさつ)
- (2)会長あいさつ
- (3)議事
  - ①令和6年度図書館利用状況及び図書館事業実績について  
議長：それでは議事にはいります。次第3の(1)「令和6年度 図書館利用状況及び図書館事業報告について」事務局の説明を求めます。  
事務局：それでは、令和6年度の焼津図書館・地域交流センター図書室の利用状況について報告いたします。お手元の資料1ページをご覧ください。初めに、(1) 図書館ホームページアクセス

件数についてですが、令和6年4月から令和7年1月末までの期間で、120,565件となっております。次に、(2)図書館の利用状況をご覧ください。全館合計の個人登録者数は、61,399人です。焼津図書館の利用状況については①の表をご覧ください。開館日数は243日、貸出者数は86,692人、貸出点数は313,041点、1日平均貸出者数は360人、1日平均貸出点数は1,299点、来館者数は117,968人です。前年比につきましては右端の「比較」の列をご覧ください。貸出者数は昨年並み、貸出点数、来館者数はやや減少となりました。②大井川図書館分は、後程、館長からご報告いたします。

地域交流センター図書室の利用状況については、次の(3)をご覧ください。6年度の貸出者数は10,099人、貸出点数は25,320点です。前年度と比較しますと、貸出者数は昨年並み、貸出点数はやや減少となっております。地域交流センター図書室の蔵書については、担当司書が利用状況を踏まえて配本・資料の入れ替えを行ったり、図書室内の本の配置を利用状況に合わせて工夫したりし、地域の読書活動の推進を図っています。

次に、資料2ページをご覧ください。(4)自動貸出機の利用状況についてです。6年度の自動貸出機での貸出状況は、焼津図書館では40%、大井川図書館では49%の方にご利用いただいています。また、この後の事業報告にも含まれますが、焼津図書館では自動貸出機の利用割合を増やすため、1月に利用促進キャンペーンを行い、利用割合の増加がみられました。

焼津図書館・地域交流センター図書室の利用状況については以上です。

大井川図書館担当主幹の山梨です。よろしくお願ひいたします。着座にてご説明させていただきます。まず、令和6年度の大井川図書館分の利用状況についてご報告いたします。資料は1ページとなります。(2)図書館の利用状況、②の大井川図書館の表をご覧ください。開館日数は243日、貸出者数は3万2千086人、貸出点数は12万8千547点、1日平均貸出者数は132人、1日平均貸出点数は529点、来館者数は5万3千698人でした。前年比につきましては右端の「比較」の列をご覧ください。貸出者数及び来館者数は若干ではございますが増加しております。貸出点数は合計で約900点、1日平均4点の減少となっております。

この状況については、第1回の協議会で申し上げましたが、今年度は図書館への足が遠のいた市民の皆さまに、再び足を運んでいただけるような図書館資料の選書や、興味を持っていただけるような講座・イベントなどの開催、また、将来の利用者となる、幼児への読書普及活動を行ったことの効果が徐々に出ているのではないかと考えております。以上でございます。

次に、令和6年度の事業について報告いたします。資料3ページの2をご覧ください。初めに焼津図書館から報告いたします。それぞれの事業の参加者数については1月末現在で集計しています。焼津図書館では、子ども向けの講座・事業を21件企画し、1月末現在で17件実施しました。その中で主なものを説明します。10番の「おはなしフェスタ」は9番の文化センターGW合同イベントと併せて開催し、おはなし会の前に図書館入口前にやいちゃんが登場したり、おはなし会に歴史民俗資料館の「やまどん」が登場するなどして、たくさんの方にご参加いただきました。次に15番の「こども図書館員講座」ですが、こちらは小中学生の夏休みの時期に合わせて毎年開催しており、例年人気な講座となっております。今年度も当初は定員8名の予定でしたが多数の申し込みがあったことから開催日程を増やし、13名の児童に参加していただきました。講座では普段は入ることができない書庫の見学や、本の整頓体験、本の装備など図書館員の仕事を体験してもらい、図書館を身近に感じてもらう機会となりました。次に、資料の4ページをご覧ください。

ださい。4 ページ 22 番以降は、大人向けの講座・事業になります。大人向けの講座・事業は 14 件企画し、1 月末現在で 11 件実施しました。23 番の「本の装備・修理講座」は例年開催している講座で、5 月に一般利用者向けとして開催しましたが、今年度は学校図書館に勤務する方々からの希望を受け、7 月に学校図書館関係者向けとしても開催しました。次に、31 番「焼津図書館講座 長谷川氏と小川城～来年は大活躍の予感！？～」は、鬼平犯科帳でも知られる長谷川氏と焼津とのつながりなどについて講師にお話しいただき、隣の歴史民俗資料館の企画展とも連携して行った講座になります。大変人気のある講師の講座であり、たくさんの方からお申込みをいただきました。37 番「自動貸出機利用促進キャンペーン」は先ほども触れましたが、大井川図書館に比べ焼津図書館の自動貸出機の利用が少なかったことから企画しました。自動貸出機利用者に貸出レシートを集めてもらい景品をプレゼントする企画で、先着 20 名の方にご参加いただき、自動貸出機の利用促進につながりました。焼津図書館については以上です。

続きまして、大井川図書館及び両館共通事業についてご報告いたします。資料 5 ページをご覧ください。それぞれの事業の参加者数については 1 月末日現在で集計していますが、No.18 の「こどもまつり」は、2 月 1 日（土）に開催済みとなっておりますので実績を記載しております。

大井川図書館では、子ども向けの講座・事業を 18 件企画し、18 件実施いたしました。その中で新しい取り組みについてご説明します。9 番の「環境講座 パッカー車を見学しよう！」は、市民環境部環境課に出前講座を依頼し、開催しました。大井川図書館の敷地内で、環境課職員からの説明を受けながらパッカー車の内部に家庭から出されるゴミが投入口から巻き込まれていく様子を見学したり、運転席に乗車するなどの体験をしたのち、ごみの分別やごみの減量について楽しく学習しました。11 番の「体験講座 子ども煎茶教室」は、大井川地区の茶葉販売店様に講師を依頼し、開催しました。お茶の種類とお湯の温度の説明を受けたのち、茶葉ごとの美味しいお茶の入れ方を体験し、お茶菓子を食べながら、お茶の飲みくらべを楽しみました。どちらの講座においても、関連する図書を紹介するブックトークを行いました。16 番の「大井川フェアワークショップ 楽しいおめんを作ろう 折り紙をつくろう」は、市内在住のイラストレーター山村知世さんに講師を依頼し、開催した季節の秋にちなみ、山村さんが描いた紅葉した葉っぱなどでお面を飾り、自分だけのお面を作成するとともに、秋をテーマにした図書を展示紹介しました。

5 ページ下から二つめ 22 番からは大人向けの講座・事業となります。大人向けの講座・事業は 6 件企画し、1 月末現在で 4 件実施いたしました。その中で新しい取り組みについてご説明します。19 番の「文学講座 小泉八雲と焼津 焼津が八雲に与えた文学的影響を考える」です。文学講座は例年実施しているものですが、今年度は 2 日間の講座とし、1 日目の座学に加え、2 日目は、市のマイクロバスを利用し、市内の八雲ゆかりの地を見学するフィールドワークを実施しました。参加された方からは「充実していた。普段なにげなく行っていた場所に発見があり楽しかった。小泉八雲について知りたくなった。」など全員の方から満足という評価をいただきました。

6 ページ、上から 5 つめからはどなたでも参加いただけた事業となります。30 番「読書の楽しみを伝えるバリアフリー絵本展」、32 番「図書館資料で伝える小泉八雲展」は 4 年ぶりに開催した静岡福祉大学との共催企画展となります。焼津市内唯一の大学である静岡福祉大学の附属図書館が所蔵する貴重なコレクションと焼津市立図書館が所蔵する資料を併せて展示し、それぞれのテーマの理解が深まるよう紹介しました。「小泉八雲展」では、焼津小泉八雲記念館の協力により貴重資料を借用し、展示しました。大井川図書館については以上です。

両館共通の事業については7ページをご覧ください。

新しい取り組みとしては、26番「絵本定期便やいづっこすくすくブッククラブ」を令和7年1月から開始しました。1月末現在でのべ181人の園児に362冊の絵本を貸し出ししました。

これは、乳幼児の絵本に触れる機会の拡充を図るとともに、乳幼児を連れて図書館に来館することをためらいがちな子育て中の家庭への支援を目的として開始したものです。公立の保育園及び幼稚園に通う園児の希望者に、月に1回、1人につき2冊を司書が選書した絵本を個人貸出し、在籍園へお届けすることで家庭へ持ち帰り、読み聞かせを楽しんでいただいています。以上が令和6年度の事業の報告です。

議長：事務局の説明は終わりました。何か質問等ございましたらお願いします。みなさん特に意見が無いようでしたら、次に進ませていただきます。

## ②令和7年度図書館事業計画について

議長：次に、次第3の(2)、令和7年度の図書館事業計画について事務局の説明を求めます。

事務局：令和7年度事業計画について報告いたします。資料8ページをご覧ください。初めに、焼津図書館についてですが、令和6年度に実施した事業の継続が主となります。子ども向けの講座では10番「サイエンス講座」や11番「科学絵本講座」、12番「こども図書館員講座」など学校の夏休み期間に開催するイベントに今年度はたくさんの応募があったため、来年度についても講座の内容を講師と相談しながら本への関心を持つきっかけとなるような講座を開催していきたいと考えています。大人向けの講座についても、引き続き参加者の興味関心の高そうな、時機にあったテーマを幅広い分野から選択し、今後実施していきたいと考えております。また、9ページ22番「ブックリサイクル」についても、例年たくさんの方にご参加いただいております。引き続き定期的に開催する予定です。地域交流センター図書室についてですが、令和8年6月に豊田地域交流センターがリニューアルオープンする予定となっています。これに伴い、令和7年度中に図書室資料の充実をはかるための選書・購入を予定しております。焼津図書館については以上です。

引き続き、令和7年度事業計画の大井川図書館分について報告いたします10ページをご覧ください。大井川図書館においても、令和6年度に実施した事業を継続開催するとともに、市民の皆様は図書館に足を向けていただけるような魅力のある事業を企画し開催していく予定です。4番の「親子ニコニコやいづっこべや」は、幼い子どもを連れて利用される方たちに、おすすめの絵本や、育児本を準備し、ゆっくり座って過ごせるよう整えた展示室を開放し、気軽に利用していただけるよう実施するものです。「やいづっこすくすくブッククラブ」の利用家庭から、図書館へ行ってみたいけれど、やはり、子ども連れでは行きにくいというご意見をいただいたこともあり、市民の方にこういった場所があることを広く知っていただくため、7年度は改めて広報活動を広く行いたいと考えています。15番の「文学講座」についても、今年度、好評をいただいたフィールドワークを継続できるテーマでの開催としたいと考えております。大井川図書館については以上です。

両館共通の事業については11ページをご覧ください。23番の「ターンクルこども館とのコラボ事業の実施」は焼津市子ども読書活動推進計画第3次計画で新たに加えた施策に基づき計画するものです。ターンクルこども館えほんと、焼津図書館、大井川図書館の3館での連携事業を行うことで相乗効果が生まれるよう企画・開催したいと考えております。以上で、令和7年度

の事業計画についてのご説明を終わります。

議長：事務局の報告が終わりました。みなさんの方から何か意見やご要望、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

桑原委員：開催講座の中で人気の高い講座は繰り返し行ったり、焼津で行ったものを、時期をずらして大井川で行ったりしてはどうか。

事務局：来年度の講座開催にあたり、参考にさせていただきます。

橋本委員：大井川図書館のボードゲームの貸出は、公共図書館では県内初と聞いている。新年度も継続するのか。

事務局：今年度は貸出開始の記念イベントとして行った。貸出しは今後も続けるもので、現在稼働率は約80%となっています。春休みにもボードゲームひろばを開催中です。

増井委員：地域交流センター図書室への利用者からの要望があった場合、今後も図書館へ繋げます。また、地域交流センターやスマイルライフ推進課との連携事業の推進をお願いしたい。

伊久美委員：昔の小説を読みたいと思うのだが、書架にないように思われる。どうすればよいか。

事務局：古い本でも、閉架書庫やほかの場所（図書館や地域交流センター）で所蔵している場合があるので、レファレンスカウンターにお申し出ください。焼津市立図書館で所蔵していない場合は、リクエストいただければ、相互貸借で他市の図書館から借りたり購入したりして対応します。

桑原委員：藤枝市では電子図書を導入している。焼津市ではどうですか。

事務局：図書館システム更新時に導入するパターンが多く、焼津市では令和8年度に更新時期であるため、より良い形で導入できるよう検討を行っているところです。

伊久美委員：電子図書が1冊あれば一度に何人も読むことができるのか。

事務局：電子図書を利用するには、回数制限がある場合があります。これは契約内容によるため、確定ではなく、研究したいと考えています。

議長：その他、何かありますか。また、全体をとおして、皆さんからご意見がありますか。無いようでしたら、以上で議事を終了し進行を事務局に戻します。

#### (7)閉会

事務局：会議の終了にあたり、一言お礼を申し上げます。皆様におかれましては、任期が令和7年5月31日まででございますので、今日の会議が最後となります。任期中は、ご多忙にもかかわらず、会議にご出席いただき、貴重なご意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見を参考に、今後の焼津市の図書館行政に役立ててまいりたいと考えております。簡単ではございますが、以上をもちまして、令和6年度第2回焼津市図書館協議会を終了いたします。